



こうた産業まつり ステージイベント出演者募集!

バンド、ダンス、コントなどジャンルは問いません。
応募をお待ちしています!

- とき** 11月8日(日) 午前10時～午後2時50分
- ところ** ハッピネス・ヒル・幸田 センタープラザステージ
- 出演時間** 1ステージ20分(準備・撤収込み)
- 募集組数** 5組(予定) *アマチュアに限る
- そのほか** 出演料はかかりません。
- 申込み** 当日のステージ概要が分かる資料をそろえて、
7月31日(金)午後4時までに、産業振興課 農業振興グループへ
お申し込みください(申込書は町ホームページからダウンロードできます)。
*応募者多数時は抽選
*抽選の日程については、後日代表者へご連絡します
- 問合せ** こうた産業まつり実行委員会事務局(産業振興課内)
☎(0564)62-1111(内線264) FAX(0564)63-5129



第10回



今回のテーマ

「蘇美天神社と 須美古墳群」



←新博物館
基本構想
については
こちら

このコーナーでは、新博物館基本構想で取り上げた『幸田町になくてはならない文化財』を紹介していきます。

須美区にある蘇美天神社は、建蘇美命を祭る神社で、成務天皇の時代に創建されたと伝わります。建蘇美命は、東夷を征伐する日本武尊の家来として仕え、見事に軍を率いて反乱を平定した人物です。最期をこの須美の地で迎え、遺体を須美山に葬り建蘇美命の働きを称えて創建されたのが蘇美天神社の始まりとされています。

蘇美天神社から西へと続く須美川の谷が平野部に出る周辺には、6世紀後半以降(古墳時代後期)のものとされる須美古墳群が形成されています。これらの古墳は、当時、須美川の谷部の開発を決めてきた人々の墓がそれぞれの小地域ごとに造られたものだと考えられます。なかでも須美第1号墳は、村の口伝で建蘇美命の墓として守られてきた場所です。明治時代に発掘された際には、古代の土器の破片や鉄片、さらに勾玉や管玉、剣などの貴重な出土品が発見されたといわれています。

また、町指定史跡にもなっている須美第6号墳(平松古墳)は、比較的残存状態が良く、南に開口する横穴式石室を持つ円墳です。古代にこの地域を治めた有力者の存在を今に伝えています。

蘇美天神社と須美古墳群が築かれた時代の地域の結びつきは、後の時代にも繋がっていくこととなります。



蘇美天神社(須美字元屋敷6)

問合せ

文化スポーツ課 文化グループ(中央公民館内)
☎(0564)62-1111(内線195)
FAX(0564)63-1675
月曜休館(月曜が祝日の場合は翌平日が休館)